

令和5年度事業報告書

1 概要

令和5年度の国内経済は、コロナ禍の収束による社会・経済活動の正常化が進み、個人消費や生産の回復に加え、30年ぶりの高い水準の賃上げやインバウンド消費の回復などにより日本経済は回復基調となったが、物価高による家計の節約行動の長期化やウクライナ・中東地域などの国際社会の不安定な情勢、さらには円安の影響もあり、我が国の経済を取り巻く環境は予断を許さない状況にある。

さらに、雇用情勢については、景気の回復傾向を受けて、宿泊業や飲食サービス業等で労働需要の増加が続く一方、製造業や建設業等では原材料費が上がり、労働需要が抑制される可能性があるとともに、テレワークの推進や副業の許可など新たな働き方を取り入れる動きが広がりつつあるなど、シルバー人材センターとしても今後の動向を注視していく必要がある。

こうした中、当シルバー人材センターとしては、企業訪問や事業所への個別通知等による就業機会の拡大や未就業対策、安全就業の推進に努めるとともに、女性会員の相互交流や会員拡大、就業機会の確保・提供を促進するため、女性活躍推進委員会を設立した。

また、スマホ講習会の開催等によりデジタル化の推進を図るとともに、継続事業である児童クラブ指導員派遣事業や福祉・家事援助サービス事業、空き家等管理代行サービス事業、介護予防・日常生活支援総合事業、産前産後ヘルパー派遣事業等を推進してきた。

さらには、会員の拡大を図るため、毎月2回の入会説明会のほか、女性限定入会説明会を定期的に行い、臨時の入会説明会や各種講習会等を実施し、会員の入会に努めるとともに、高齢者が多く集まる場所でのパンフレット等の配布、タウン誌、広報等の機関紙、新聞折込み等の広報活動、清掃ボランティア等の社会貢献活動を通じた啓発活動を積極的に進めてきたところである。

センターの事業実績としては、会員数は前年度と比べて20人増加の790人、契約金額は6.5%の増加の366,841,908円となった。

今後も会員拡大に積極的に取り組むとともに、新規分野の就業開拓や新規事業の取り組みに努め、市民から信頼され地域に貢献できるセンターを目指し、会員はじめ、役職員が一丸となって引き続き努力していく所存である。

以下、事業実績は次のとおりである。

区分	令和4年度(A)	令和5年度(B)	(B)－(A)	前年度比(%)
正会員数(人)	770	790	20	102.6
受注件数(件)	3,239	3,215	△24	99.3
契約金額(円)	344,565,560	366,841,908	22,276,348	106.5

※派遣事業(県連合会実施)分含む

2 事業実施状況

(1) 高齢者に対する雇用によらない就業機会の確保及び提供事業

ア 地域社会に密着しながら、会員の希望、知識及び経験に応じた就業等の活動機会を確保提供

- (ア) 高齢者にふさわしい地域社会に密着した仕事を、西条市をはじめとする官公庁、一般家庭、企業等から有償で引き受け、会員の希望、知識及び経験に応じて請負又は委任による提供を行った。
- (イ) 子育て支援事業として、産前産後ヘルパー派遣事業を実施し、前年度と比べて受注件数48件減少の52件、契約金額 660,000 円減少の 572,000 円であった。
- (ロ) 児童クラブ指導員派遣事業として、5クラブに16名派遣し、前年度と比べて契約金額 759,771 円増加の 4,177,779 円であった。
- (ハ) 福祉・家事援助サービス事業として、前年度と比べて受注件数3件減少の132件、契約金額 642,446 円増加の 1,896,764 円であった。
- (ニ) 介護予防・日常生活総合事業として、訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス）を実施し、前年度と比べて受注件数3件増加の35件、契約金額 1,500 円減少の 76,500 円であった。
- (ホ) 地域就業機会創出・拡大事業として、「空き家等管理代行サービス事業」を実施し、前年度と比べて受注件数90件増加の341件、契約金額 4,028,249 円増加の 8,066,245 円であった。

イ 会員の拡充

- (ア) 会員の拡充に関する報奨制度の活用による入会者は、26名であった。
- (イ) 入会説明会を月に2回開催するとともに、各種講習会終了後や入会促進月に臨時入会説明会を開催した。
- (ロ) 女性限定入会説明会を定期的で開催、11名の参加があり、7名が正会員として入会、女性会員の増強を図った。
- (ハ) 逐次、未就業者へのアプローチを図るとともに、就業機会の提供を行い退会会員の防止に努めた。

ウ 事務局体制の充実

職員の資質向上に努め効果的な予算執行を図った。また、月に2回事務局内において会員及び就業機会拡大会議を行い会員の入会促進や退会防止並びに新規分野の開拓や新規事業への取組みについて検討を行った。

(2) 雇用による就業を希望する高齢者に対する職業紹介事業及び労働者派遣事業

ア 職業紹介事業

職業紹介事業は、センター事業に馴染まない臨時的、短期的な雇用に結び付く高齢者への職業紹介事業で、本年度において実績はなかった。

イ 労働者派遣事業

労働者派遣事業は、愛媛県シルバー人材センター連合会西条実施事務所として、前年度と比べて派遣就業会員6名増加の343名、受注件数3件減少の

110件、契約金額 24,783,980 円増加の 191,031,802 円であった。

(3) 高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能を付与する講習事業

ア 就業意欲のある高齢者を対象とした技能開発講習会

(7) 「草刈剪定体験会」

剪定や草刈作業の技能向上と、新たな班員の増強を目的として、班長が講師となり講習会や体験会を開催し、5名（会員）の参加があった。

(4) 「児童クラブ指導員講習会」

放課後児童クラブ等子育て支援の就業機会の拡大を図る目的として、講習会を開催し、13名（一般6名、会員7名）の参加があった。

なお、講習会時に併せて入会説明会を行い、3名が正会員として入会した。

イ 愛媛県シルバー人材センター連合会と連携した事業

高齢者活躍人材育成事業として、地域の一般高齢者を含めて次の講習会を開催した。

(7) 「送迎業務講習会」を開催し、7名（一般4名、会員3名）の参加があった。

なお、講習会時に併せて入会説明会を行い、3名が正会員として入会した。

(4) 「剪定基礎講習会」を3日間にわたり開催し、6名（一般2名、会員4名）の参加があった。

なお、講習会時に併せて入会説明会を行い、全員が正会員として入会した。

(7) 「児童クラブ補助員養成講習会」を開催し、8名（一般5名、会員3名）の参加があった。

なお、講習会時に併せて入会説明会を行い、4名が正会員として入会した。

(4) 高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図る事業

ア 社会参加活動

(7) 地域社会に貢献するシルバーをめざし、清掃活動を中心としたボランティア活動を実施した。（丹原中央公園清掃21名、加茂川河川敷周辺清掃38名、中央公民館周辺清掃38名、アウトドアオアシス館周辺清掃20名）

(4) 事務所スペースを利用し、会員の趣味を活かした作品を展示するとともに、地域の高齢者と講座等を通して交流を図った。

イ 相談・情報提供事業

(7) 理事参加のもとで就業相談会を毎月開催し、会員及び地域における働く意欲のある高齢者のために就業相談、就業情報提供、講習会等案内を行い、累計27名（一般16名、会員11名）の参加があった。

なお、一般参加者の内5名が正会員として入会した。

(4) ホームページ、会報、会員ひろばの掲示板を活用し就業に必要な情報提供を行った。

ウ 接遇マナー

発注者に対するマナーを重視し、会員各自が誠実な就業を行うよう入会説明会及び臨時入会説明会に併せ、挨拶や声掛等接遇マナーについての意識啓発を図った。

エ シルバー講座

高齢者の健康の維持・促進を支援し、生きがいの充実と活力ある地域社会づくりを図る目的で次の講座を開催した。

- (7) 背中美人体操を開催し、10名（一般5名、会員5名）の参加があった。
- (8) 健康マージャン教室を開催し、10名（一般）の参加があった。
- (9) お茶教室を開催し、16名（一般7名、会員9名）の参加があった。
- (10) ビーズ教室を開催し、18名（一般14名、会員4名）の参加があった。
- (11) 多肉植物の寄せ植え講座を開催し、10名（一般）の参加があった。
- (12) 若見え体操を開催し、15名（一般7名、会員8名）の参加があった。

(5) 高齢者の多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高齢者の能力の活用を図るための事業

ア 就業開拓等事業

- (7) 就業機会開拓推進員を配置し、地域事業所、地方公共団体等を訪問面談し、高齢者にふさわしい仕事の開拓に努めた。（事業所訪問 150 件）
- (8) 事業所等に仕事の受注についてのパンフレットを送付した。（事業所通知 275 件）
- (9) 空き家等管理代行サービスのパンフレットを市内外に配布し、空き家管理及び墓地清掃業務の推進に努めた。
- (10) 職群班による就業機会の開拓を行った。

イ 調査研究事業

- (7) 一般家庭の新規発注者 250 件の受注に対しアンケート調査を実施し、事業運営の検討課題を見出し、対応策の検討を行った。
- (8) 役員による先進地視察研修を実施し、会員及び就業拡大や独自事業についての研修を受けた。

ウ 安全・適正就業推進事業

- (7) 安全就業の推進については、危険性が高いと見込まれる案件は受注せず、毎月1回の安全パトロールや就業時の安全指導を実施するとともに、配分金支払通知書及び派遣会員への給与明細書の送付に併せ、事故状況や安全に関する資料及び健康診断の受診奨励等を同封し、会員への意識啓発を図った。
- (8) 前年度において保険適用事故を起こした会員の安全講習会を開催し、安全に対する意識の高揚を図った。
- (9) 本年度の請負・委任におけるシルバー保険適用事故について、傷害事故は前年度と比べて3件増加の3件、賠償事故は前年度と比べて2件増加の5件となった。

派遣事業における保険適用事故について、傷害事故は前年度と比べて2件増加の2件、賠償事故は前年度と比べて1件増加の1件となった。

車両による保険適用事故について、賠償事故は前年度と比べて1件増

加の1件となった。

事故に対し、臨時の班長会を開催し事故防止対策の徹底を図った。

- (イ) 適正就業の推進については、厚生労働省 全国シルバー人材センター事業協会において作成された「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」に基づき新入会員には入会説明時に、新規発注者は訪問、郵送等のあらゆる機会を活用し周知徹底に努めた。
- (ロ) 長期就業や月間就業時間の是正を行い、公平な就業機会の提供を確保した。
- (ハ) 未就業者に対し、就業体験として公園での草引きの就労提供を行った。
- (ニ) 既存の受注について、請負・委任として適当かどうか更なる検討を行い、適当でないと判断した受注については、労働者派遣事業へ切替等を行った。

エ 普及啓発事業

- (イ) センター事業の内容を広くPRするため、新聞折込やタウン誌、求人情報広告等で会員募集や事業所等へ仕事の依頼のパンフレットを送付した。
- (ロ) 高齢者等が集まるイベント等で啓発用のポケットティッシュや入会説明会等のチラシを配布した。
- (ハ) 会員及び関係機関へ「シルバー西条」を年2回発行し、配布した。
- (ニ) ホームページに就業情報の記事を定期的に更新し、情報提供及び事業内容等の周知を図った。
- (ホ) 市の広報、商工会議所会報、公民館だよりへ会員募集の掲載を行うとともにポスターの掲示及びチラシの配布を行った。
- (ヘ) ハローワークに定期的に入会説明会や就業相談会の案内チラシを設置し、シルバーの周知を図った。
- (ニ) ボランティア活動の際に報道依頼を行った。
- (ロ) 寺院に、墓清掃サービスのパンフレットを送付し、周知依頼を行った。